

乙見湖休憩舎 笹ヶ峰牧場

笹ヶ峰牧場（ささがみねぼくじょう）の広さは約 600 ヘクタールに及び、敷地内にはニレやブナ、シラカバの木が点在している。冬に降った雪は 5 月末までには解け、そのあとには、春から夏にかけてウマノアシガタが野原いっぱいに黄色のじゅうたんを作りだす。

牧場が活気に満ちるのは 7～8 月で、この時期には約 100 頭の肉牛と乳牛が野原で草をはむ。乳牛は北ヨーロッパ原産で生産性の高いホルスタイン牛である。一方の肉牛は、4 種類ある和牛品種のうちの 2 つ、黒毛和種と日本短角種で、その肉は、低地にある頸城（くびき）平野にちなんで「くびき牛」の名前で流通している。

笹ヶ峰高原は標高約 1,300 メートルの場所に位置する。この一帯は湿度が低く、気温は、夏は摂氏 28 度まで上がる一方、冬は氷点下 28 度まで下がり、積雪が 5 メートルを超えることもある。年間降水量は 1,500～2,000 ミリメートル。